

平成22年度排出・移動分PRTRデータの概要について(和歌山県)
—化学物質の排出量・移動量の届出集計結果—

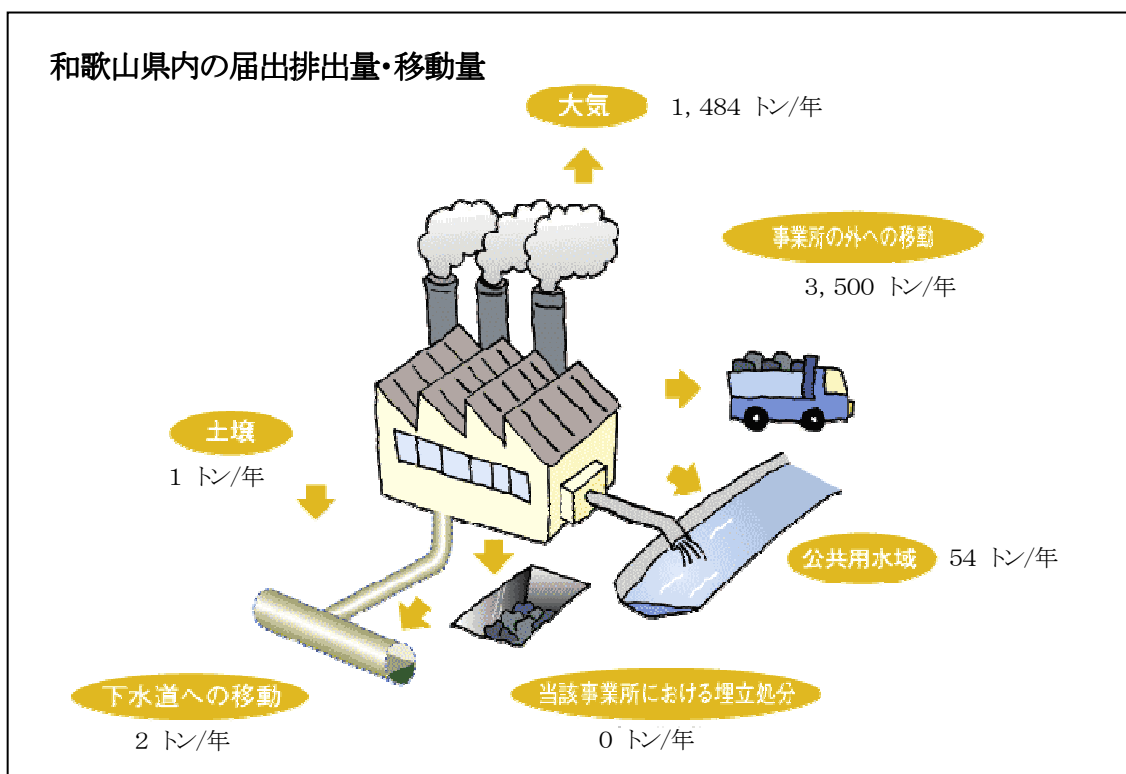
平成11年7月に公布された「特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律」に基づき、化学物質排出移動量届出制度(「PRTR」(Pollutant:環境汚染物質 Release:排出 and Transfer:移動 Register:登録))が導入されました。

この法律に基づき、平成13年度分から一定の条件を満たした事業者(従業員数が21人以上の政令で定められた24業種に該当する事業を営み、対象物質の年間取扱量が1トン以上(平成13、14年度分届出については5トン以上))の事業所は、環境中に広く継続的に存在し、人の健康や生態系に悪影響を及ぼす恐れのある462種類の化学物質について、1年間の環境への排出量^{※1}や移動量^{※2}を毎年度届け出しています。

国(経済産業省・環境省)は、届出値の集計結果及び推計を行った届出対象外の排出量の集計結果を公表することとされており、法施行後第10回目となる平成22年度分の集計結果について、平成24年3月13日に公表していますが、和歌山県においても、県内の排出量・移動量等の概要について取りまとめましたので、公表します。

※1排出:大気や公共用水域、事業所内の土壌への排出量及び事業所内への埋立処分量

※2移動:廃棄物としての事業所外への移動量及び下水道への放出量



- ・ 全国の集計結果等は、環境省のホームページ(<http://www.env.go.jp/chemi/prtr/risk0.html>)に掲載しています。

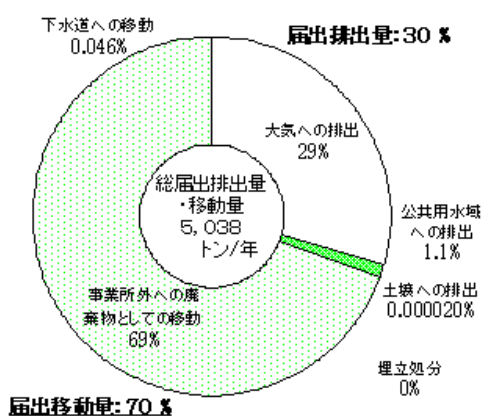
1 届出排出量・移動量

(1) 和歌山県内全事業所及び全物質の届出排出量・移動量

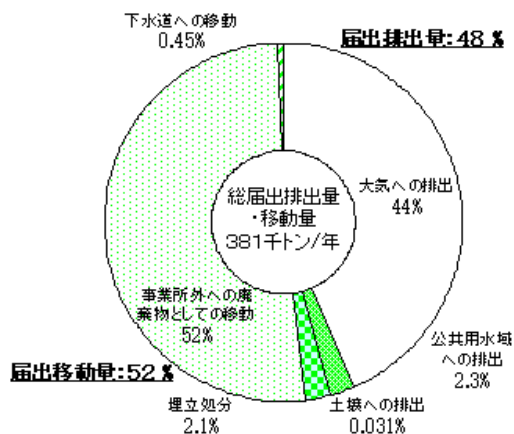
事業者より届出のあった総排出量は、1,538トン(全国の0.84%)、総移動量は、3,500トン(全国の1.77%)、排出量・移動量の合計は、5,038トン(全国の1.32%)となっています。

全国のデータと比較してみると、和歌山県は、移動量(特に廃棄物としての移動)の割合が高くなっています。

総届出排出量・移動量の構成比(和歌山県)



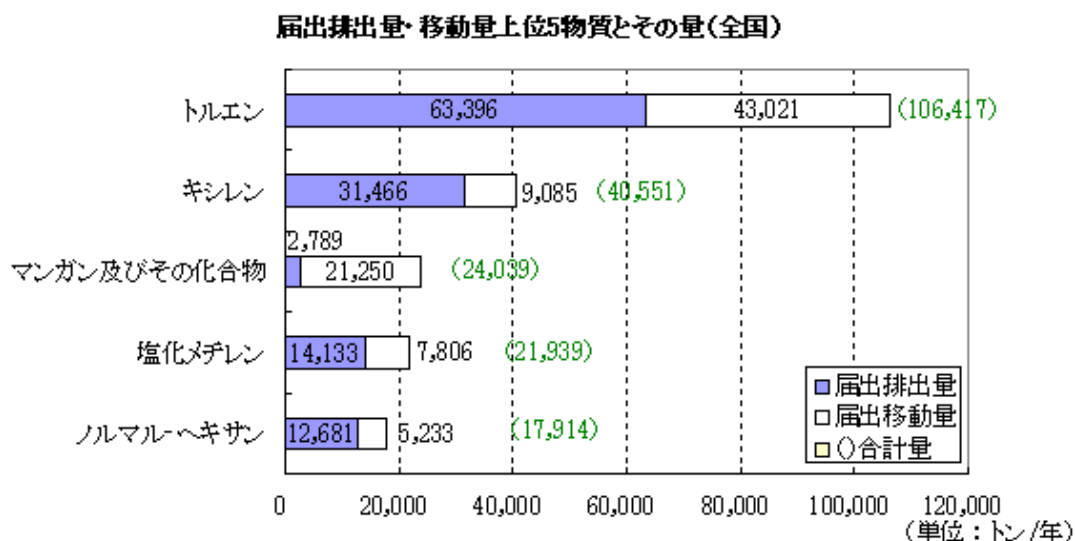
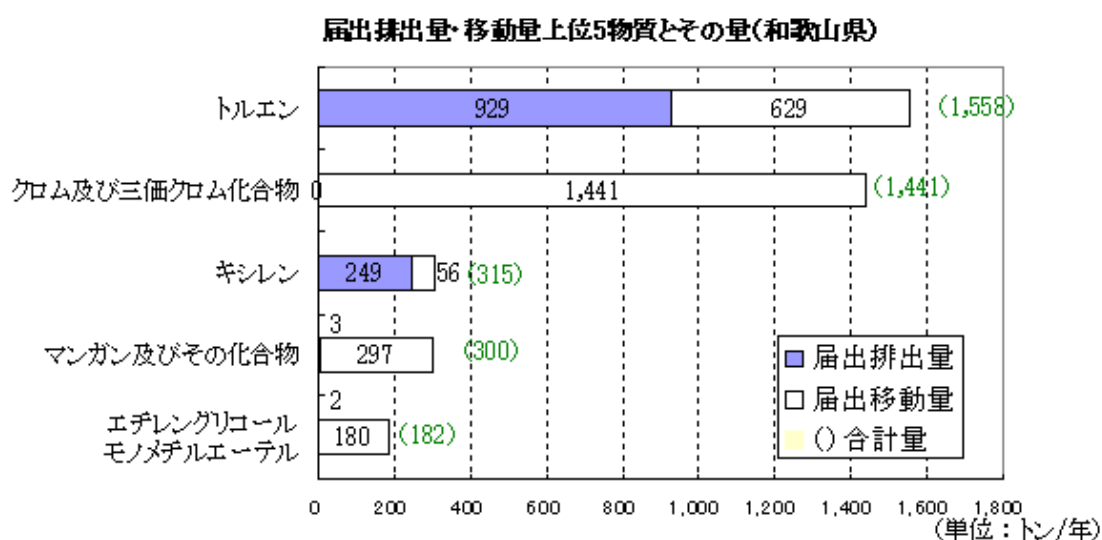
総届出排出量・移動量の構成比(国)



(2) 事業所の届出排出量・移動量の多い物質

上位5物質の合計は、3,786トンで、全体の75%を占めています。

また、ガソリン・灯油、合成原料や溶剤として幅広く用いられるトルエン(1位)、キシレン(3位)、特殊鋼や電池などに用いられるマンガン及びその化合物(4位)が上位を占めているのは全国的な傾向と同様ですが、ステンレス鋼、顔料などに用いられるクロム及び三価クロム化合物(2位)、溶剤や化粧品原料などに使用されるエチレングリコールモノメチルエーテル(5位)については、順位が全国と比較して高くなっています。

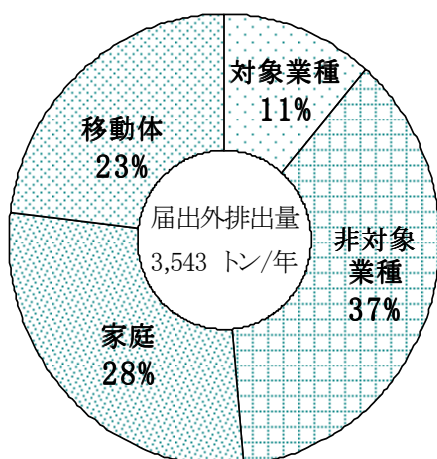


2 届出外排出量の推計値

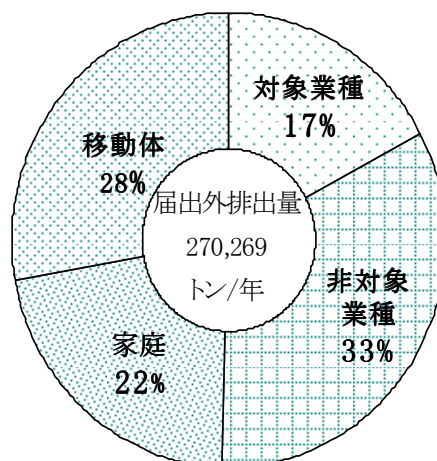
(1)和歌山県の届出外排出量の推計値

国が推計を行った平成22年度分の届出外排出量の推計値の合計は、3,543トン(全国の1.31%)となっています。

届出外排出量の構成比(和歌山県)



届出外排出量の構成比(全国)



対象業種：対象業種であるが、届出要件に満たないため届出対象外となったもの

非対象業種：非対象業種からの排出量(農業、林業、漁業、建設業等)

移動体：移動体(自動車、二輪車(二輪自動車及び原動機付自転車)、特殊自動車、鉄道車両、船舶、航空機)からの排出量

家庭：家庭からの排出量(主として、洗剤、防虫剤・消臭剤、化粧品、接着剤・塗料等に含まれる対象物質の排出量)

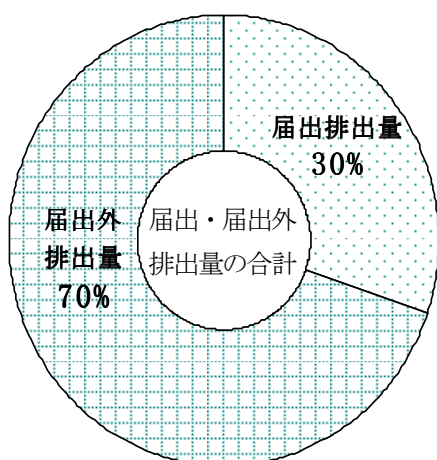
3 届出排出量と届出外排出量の推計値の合計

(1) 届出排出量と届出外排出量の合計

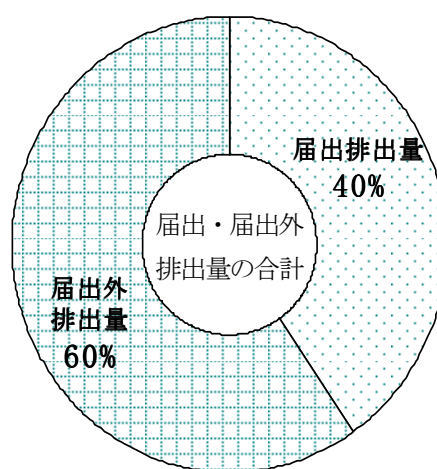
平成22年度分の届出排出量と届出外排出量(推計値)の合計は、和歌山県5,081トン(全国の1.12%)となっています。

また、構成比を全国と比べると、和歌山県は届出排出量の割合が低くなっています。

届出と届出外排出量の構成比(和歌山県)



届出と届出外排出量の構成比(全国)

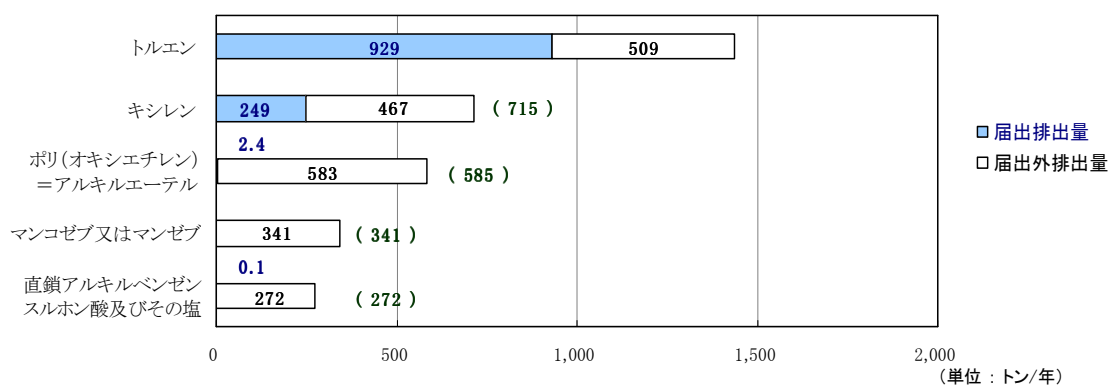


(2) 届出排出量・届出外排出量上位5物質とその量

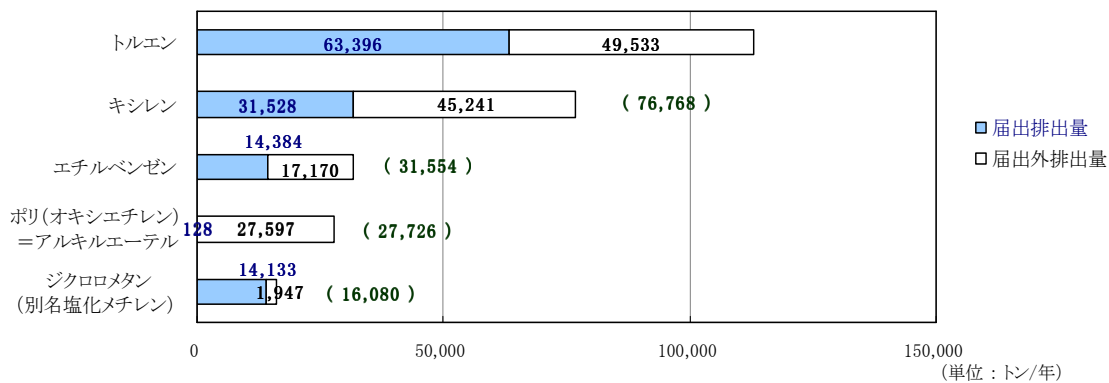
上位5物質の合計は3,351トンで、全体の64.07%を占めています。

また、ガソリン・灯油、合成原料や溶剤などに用いられるトルエン(1位)、キシレン(2位)、界面活性剤であるポリ(オキシエチレン)＝アルキルエーテル(3位)、直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩(5位)が上位を占めているのは全国的な傾向と同様です。

届出・届出外排出量上位5物質とその量(和歌山県)



届出・届出外排出量上位5物質とその量(全国)



(参考1)

和歌山県における届出等の推移

(単位:トン/年)

	平成18年度分	平成19年度分	平成20年度分	平成21年度	平成22年度
届出事業所数	362	374	334	330	314
届出排出量(a)	2,996	1,963	1,674	1,879	1,538
届出移動量(b)	4,466	4,482	4,369	2,617	3,500
届出排出量・移動量合計(a+b)	7,462	6,446	6,043	4,496	5,038
届出外排出量の推計値(c)	3,797	3,594	3,666	3,352	3,543
排出量合計(a+c)	6,793	5,557	5,340	5,230	5,081

全国における届出等の推移

(単位:トン/年)

	平成18年度分	平成19年度分	平成20年度分	平成21年度分	平成21年度分
届出事業所数	41,141	40,935	39,583	38,141	36,491
届出排出量(a)	246,537	235,983	200,230	176,110	182,732
届出移動量(b)	225,852	222,110	201,863	176,244	198,100
届出排出量・移動量合計(a+b)	472,389	458,092	402,093	352,354	380,831
届出外排出量の推計値(c)	315,079	292,339	290,872	264,903	270,269
排出量合計(a+c)	561,616	528,322	491,102	420,810	453,062

(参考2)

届出対象業種

金属鉱業	自動車卸売業
原油・天然ガス鉱業	燃料小売業
製造業 食料品製造業、化学工業、繊維工業 鉄鋼業、電器機械器具製造業等	洗濯業
	写真業
電気業	自動車整備業
ガス業	機械修理業
熱供給業	商品検査業
下水道業	計量証明業
鉄道業	一般廃棄物処理業
倉庫業	産業廃棄物処分業
石油卸売業	高等教育機関
鉄スクラップ卸売業	自然科学研究所
医療業	

640-8585

和歌山市小松原通1丁目1番地

和歌山県環境管理課

TEL:073-441-2683

FAX:073-441-2689